

マネジメントコース

今日の社会環境・経済環境の変化のスピードは、驚くべきものがあります。数年前にそれを表す言葉として用いられた「ドッグイヤー」も既に死語になろうとしています。

競争と効率が重視された新自由主義の見直しが叫ばれていますが、グローバル化の真っ只中に身をおく企業にとって、国際的な競争に勝ち残っていくためには否応無く更なる効率化を図らなければなりません。その中で働く人を「コスト」と見るのか「アセット」と見るのか、企業経営の視点が問われています。

マネジメントコースの各プログラムは、企業の資産となる人材を育てるためのプログラムを厳選し、皆様にお届けいたします。

MBA マネジメント基礎講座

時 間 … 19:00~21:00
受講料 … 24,000円(同窓生割引18,000円)
定 員 … 30名
会 場 … 東京丸の内キャンパス
※講師のスケジュールにより、日程が入れ替わる場合がございます

11/10(火)

第1回「人材マネジメント論」

担当:株式会社ヒューマンラボ取締役 船越 伴子

「人」は最も重要な経営資源の1つです。この「人」にスポットをあて、HRM(Human Resource Management)とは何か、何が人をやる気にさせるのかなどベースとなる理論を紹介しながら、人材開発の基本的考え方を学んでいきます。

11/17(火)

第2回「財務・会計論」

担当:(有)OBSビジネスパートナー代表取締役・
中小企業診断士(MBA) 佐藤 真理

財務・会計論では、経営学を実践に活かす上で欠かせない、決算書の読み方にフォーカスします。決算書(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書)の仕組みと、それぞれがどのような意味を持ち、相互にどのように関連しているのかについて、簡単な事例を交えながら学んでいただきます。簿記を知らない方や会計が苦手な方にも楽しく受講していただけるように工夫しています。なお、受講にあたっては、電卓をご持参ください。

11/24(火)

第3回「マーケティング戦略論」

担当:株式会社JMRサイエンス取締役CKO(MBA) 川島 隆志

企業活動のコストを負担してくれるのは、「お客様」です。そのお客様との良好な関係を形成するのは、マーケティング志向の企業活動が必須です。マーケティングとは、「顧客の好意と購買と満足をめぐる、企業間競争の技術と知恵と哲学」であると考えております。この講座では、まず、企業活動におけるマーケティングの位置づけ、その考え方を押さえます。その上で、BtoCマーケティング、BtoBマーケティングの両方について、それぞれ戦略立案のポイントを学んでいただきます。そして、最後に、事例を見ていながら一般理論の理解を深めていきたいと考えております。

担 当 講 師

船越 伴子

Funakoshi Tomoko

業務経歴・資格

2003年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了。
株式会社ヒューマンラボ取締役、社団法人日本産業カウンセラー協会認定キャリアコンサルタント。
JIAL認定アクションラーニングコーチ

主な業務経歴

商社にて人事業務を経験後、教育研修団体を経て、人材開発やキャリア開発専門会社を共同設立。教育研修、HRや組織開発のコンサルティングなど、人材に関わるトータル的なサポートに携わる。また、文科省の委託事業である「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」にて関西学院大学経営戦略研究科が採択された「ハッピーキャリア(女性の再就職・起業)支援プログラム」の講師を担当。日本キャリアデザイン学会会員。



担 当 講 師

佐藤 真理

Sato Mari

業務経歴・資格

1994年京都大学法学部卒業。経営コンサルタント。
2008年関西学院大学大学院経営戦略研究科ファイナンスコース修了。同大学客員研究員兼非常勤講師。
中小企業基盤整備機構チーフアドバイザー、中小企業診断士。

主な業務経歴

大手生命保険会社にて、顧客対応、企画調査、総務(秘書)、経理等の業務を幅広く経験後、経営コンサルタントとして独立開業。金融機関におけるゼネラリストとしての経験を活かし、ベンチャー企業・中小企業を対象とした経営コンサルティングに従事している。専門は経営戦略策定、経営計画作成、顧客満足経営・従業員満足経営の実践支援など。また大学等で実務経験に基づく講義を積極的に行うなど、若手人材の育成にも尽力している。



担 当 講 師

川島 隆志

Kawashima Takashi

業務経歴・資格

1996年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了。
2003年株式会社JMRサイエンス代表取締役
2009年株式会社JMRサイエンス取締役CKO

主な業務経歴

ブランディング、CRM戦略の構築、商業施設・流通マーケティング、店頭マーケティング、BtoBマーケティング、新規事業開発などを幅広く経験。主要論文:「生産財企業に学ぶ関係性マーケティング」(1996年)、「新商品開発プロセスの革新」(1999年)、「デジタルな時代の消費者を理解する法則」(2001年、2002年、2003年、2004年)、「パワーブランド構築とCRM戦略」(2005年)、「新ネット時代のマーケティング」(2006年)、「新しい消費者を理解する法則」(2007年)



こんな方におすすめ

将来のために、他部門の仕事を知りたいという方や、今担っている仕事よりもう一段高い視点で経営を見ようとするビジネスパーソンにお勧めです。

12/1 (火)

第4回「情報戦略と企業経営」—その理論と実践—

担当：BICビジネスイノベーションコンサルティング
代表(MBA) 登坂 一博

情報が重要な経営資源の1つと言われはじめて、かなりの期間がたっています。本当に現在の経営者は情報を積極的に成長戦略(収益の拡大)に適用できているのでしょうか。難解なIT用語をビジネス用語として理解できているのでしょうか。その疑問を解消するためのヒントを情報資源管理の理論ベースと成功企業事例を通して、皆様と考えていきたいと思ひます。

12/8 (火)

第5回「競争優位な組織経営」

担当：日本高周波鋼業株式会社代表取締役社長 池田 辰雄

バブル崩壊以降の日本企業の衰退とその後の復興の経過は大変特徴的です。一時喧伝されたアメリカンスタンダードの経営から脱却して、再度、日本独自の効率的経営が生まれようとしています。その典型とも言える鉄鋼業に長年身を置く者として、実態に即した経営姿勢と主要な一般的課題を披露して、今後経営者や幹部となられる諸氏への事前準備のヒントを提供します。話題は製造業に根ざしますが、異業種に働く方々にも参考になると思ひます。

12/15 (火)

第6回「企業経営総論」

担当：国際ランド&ディベロップメント株式会社
代表取締役社長 松田 太一

ケースやディスカッションを中心に「企業とは何か」「経営とは何か」、「企業価値とは何か」という本質的な問いについてもう一度掘り下げて考え、理解と気づきを深めます。

担当講師

登坂 一博

Noborisaka Kazuhiro

業務経歴・資格

1999年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了。
大手複写機メーカーでアカウントセールスマネジャー、経営コンサルティング会社で営業改革コンサルティング、大手外資系ITベンダーではビジネスコンサルティング部長、ビジネス開発部長、コマース営業部長等を歴任。
2009年8月よりBICビジネスイノベーションコンサルティング代表。

主な業務経験

大手複写機メーカーでテリトリー営業から大手企業担当のアカウントマネジャーを経験。その後、経営コンサルタントに転じ、営業改革のコンサルティング案件を多数担当。その後、大手外資系ITベンダーにBiz&ITコンサルタントとして参画し、IT武装化による営業モデル改革コンサルティング、グローバルプログラムの日本への導入等に従事。現在は、BIC代表として営業力強化の為の営業戦略の立案から実行・定着支援等の実践コンサルティング及び企業の売上げの1~3%を占めているプリンティングコスト削減コンサルティングを専門とする。



担当講師

池田 辰雄

Ikeda Tatsuo

業務経歴・資格

1969年京都大学工学部冶金学科卒
2002年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了(MBA8期生)

主な業務経験

1969年(株)神戸製鋼所に入社し圧延、製鋼などの鉄鋼生産の技術開発を担当。1978年より3年間西ドイツに駐在し鉄鋼技術および戦略調査を担当。1981年より神戸製鉄所にて線材棒鋼生産の技術開発、品質保証、技術企画などを経験。1989年より4年間アメリカの合弁会社USS/KOBE STEEL社に出向し、計画および品質保証担当部長として技術移転に従事。2000年より神戸製鋼所執行役員神戸製鉄所長。2002年より常務執行役員として全社の鋼材生産全般を総括。2004年より日本高周波鋼業株式会社社長に就任し、現在に至る。



担当講師

松田 太一

Matsuda Taichi

業務経歴・資格

2009年国際ランド&ディベロップメント株式会社代表取締役社長。
2006年株式会社KHC代表取締役社長(現取締役)。
1993年大成建設株式会社。
1993年大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)卒業。
2003年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了。

主な業務経験

1993年に大手建設会社に就職、海外建設プロジェクトの管理業務などを担当。2001年より関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコースにて経営学を学び、主に建設・不動産企業の経営に携わる。現在は不動産開発やプロパティマネジメント事業を手がける国際ランド&ディベロップメント株式会社の代表取締役社長を務める。



マネジメントコース

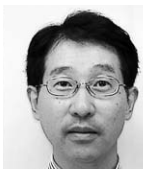
“リスクをとらずして成長無し” 経営戦略リスクマネジメント講座

株式会社COSY 代表取締役 森川 祐輔

企業が成長して行くには、戦略を立案し、それを実行していかなければなりません。しかしながら新たな戦略を実行すれば、必ずそれに伴うリスクが発生します。戦略実行時に発生可能性のある危機を予測し、評価し、それに対して対策オプションを検討しておくと言う戦略リスクマネジメントが昨今益々重要になってきております。リスクを如何に認識し、分析、評価、コントロールしていくかに重点を置き、事例やケーススタディーを中心に講義を進めていきます。

	テーマ	内 容
第1回 2010年 1/15(金)	■ 経営学基礎、事業戦略、事業評価と判断基準(講義と演習)	① ビジョンとミッション(企業の存在意義) ② 戦略と戦術、競争戦略理論 ③ 事業投資とリスクの関係 ④ 演習及びケーススタディー概要説明
第2回 1/22(金)	■ リスクマネジメント概論 講義と演習	① リスク研究の起源と歴史 ② リスク認知「認識されていないリスクは対処できない」 ③ リスクと不確実性の評価 ④ リスクコントロール 演習:リスクの洗い出し、リスクマップの作成
第3回 1/29(金)	■ 経営戦略シナリオ分析	① 戦略リスクとシナリオ分析、リスク評価、事業投資決断 ② 演習:グループ発表
第4回 2/5(金)	■ 危機管理(事業継続計画)	① 事業継続計画(BCPプラン) ② 演習:ケーススタディー
第5回 2/12(金)	■ 日本の経営とグローバル化	① 信頼社会と安心社会 ② 社会環境の変化、労働者の意識変化 ③ 新しい日本の経営に向けて ④ 事例研究:食品偽装、情報漏洩事件
第6回 2/19(金)	■ ワークショップ	① ケーススタディーをもとにグループ別にディスカッションの後、発表して頂きます。

全6回 時 間… 19:00~21:00
受講料… 24,000円(同窓生割引18,000円)
定 員… 15名
会 場… 東京丸の内キャンパス



森川 祐輔
Morikawa Yusuke

関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了
日系メーカー駐在員として欧州、米国、技術開発会社設立に従事後、ミノルタ(株)にて経営戦略立案に従事。コニカミノルタ合併後2006年に独立、(株)COSYを設立。セキュリティーマネジメント学会会員

“これだけは知っておきたい” 実践労働法入門講座

	テーマ	内 容
第1回 2010年 2/2(火)	■ 労働契約と労働法	労働契約は従業員が働くということの法的源泉で、平成20年に施行された労働契約法によって規定されています。この法律が求めるものを紹介し、同時に労働契約と就業規則、労働協約との関係を整理します。特に労働組合との関係から、労組法の意味合いについても考えていきます。
第2回 2/9(火)	■ 採用から退職までに 関する労働法	従業員を雇用する際の、採用、人事異動、出向、転籍、退職、解雇など人事管理上の節目には様々なトラブルが発生する可能性があります。このような労務リスクを無くし、労働法に適った人事運用を進める上でのポイントを解説します。
第3回 2/16(火)	■ 勤務時間と労働法	労働基準法では、従業員の勤務する時間編成について、変形労働時間制、フレックスタイム制、みなし労働時間制等、多くのパターンが用意されていますが、これらを活かした運用が出来ていないのが実情です。各パターンの解説を進めながら問題点も指摘します。
第4回 2/23(火)	■ 会社を守るための 就業規則	就業規則は会社の憲法とも言われ、大切な経営資源である従業員のモラル維持、会社保全のために、経営者はその重要性を認識しなければなりません。就業規則の本来持つべき役割を知り、就業規則が不備のために被るリスクの具体例や就業規則作成の際の注意点など、事例を交えて、企業防衛の要の就業規則のあり方を解説します。
第5回 3/2(火)	■ 有期雇用労働者、 パートタイマー、 派遣社員と労働法	有期雇用労働者、パートタイマー、派遣社員については、正規従業員とは、法的な取り扱いでやや違ってくるところがあり、それぞれパートタイム労働法、労働者派遣法という労働基準法とは別枠の法律が設けられており、実務上これらの理解も不可欠です。この雇用諸形態と通常労働者の差異に注目しながら実務上の法律知識を学んで頂きます。

全5回 時 間… 19:00~21:00
受講料… 20,000円(同窓生割引16,000円)
定 員… 15名
会 場… 東京丸の内キャンパス



池内 恵介
Ikeuchi Keisuke

1986年早稲田大学法学部卒業。
同年大手百貨店入社。百貨店時代は、労働組合の専従、中央執行委員として、計4回に亘る人事賃金制度改正に実務面で参画、人事・労務中心の経歴を積む。また中央副執行委員長としてオルグ活動、経営対策活動を推進する。退職後は、一時マーケティングコンサルタントなどを経験したのちに、セガサミーグループにて企業合併の際の人事制度構築を実施。また傘下の製造会社の人事部長を務め、M&Aによる要員削減のためのリストラの陣頭指揮をとる。現在社会保険労務士事務所を開業。経営視点での労務コンサルティングを業務の主軸としている。

土曜集中講座

「バランスシート発想で読み解く企業経営」

国際ランド&ディベロップメント株式会社 代表取締役社長 松田 太一

この講座は財務分析手法の解説ではなく、受講生自身の経験に財務視点を加えることにより「新しいものの見方」を発見することを目的としています。あえて財務の専門家ではない若手企業経営者が講師となり、ケーススタディやディスカッションを中心に受講生の気づきを深めます。これまで財務や会計に触れる機会が全くなかった方にも十分に取り組んでいただける内容です。この講座を皆さんの学びと気づきの“きっかけ”にして下さい。

	テーマ	内 容
第1回 2010年 1/23(土)	■ 企業と経営(ディスカッション&ガイダンス)	簡単なガイダンスを行い、「企業とは何か」、「経営とは何か」、「企業価値とは何か」という本質的な問いについてともに考えます。キーワード:企業、経営、戦略、組織、事業、マーケティング、財務、会計など。
第2回 2/13(土)	■ 企業価値とは何か(ケース・スタディ)	実在する企業の財務データを用いて、企業経営の基本構造について考えます。キーワード:バランスシート、キャッシュフロー、DCF法、ROA、ROEなど。
第3回 2/27(土)	■ 企業価値向上のために (プレゼンテーション&ディスカッション)	対象企業の企業価値向上についてプレゼンテーション&ディスカッションを行い、理解を深めます。キーワード:企業価値向上とROE

全3回 時 間… 13:00~17:00
受講料… 24,000円(同窓生割引18,000円)
定 員… 15名
会 場… 東京丸の内キャンパス